

**【NEWS RELEASE】**

2019年5月8日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社いなげやに「SMBC事業継続評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行(頭取 CEO:高島 誠)は、株式会社いなげや(代表取締役社長:成瀬 直人)に「SMBC事業継続評価融資」を実施いたしました。

「SMBC事業継続評価融資」は、MS&ADインターリスク総研株式会社(代表取締役社長:中村 光身)<sup>1</sup>と三井住友銀行が共同で開発した独自の評価基準に基づき、企業の事業継続計画(BCP<sup>2</sup>)策定を含む事業継続マネジメント(BCM<sup>3</sup>)の状況および事業継続マネジメントシステム(BCMS<sup>4</sup>)の構築・運用状況等を評価し、事業継続における今後の改善余地や取組のポイントについて、MS&ADインターリスク総研株式会社より還元させていただく融資商品です。

今回対象となりました株式会社いなげやの事業継続への取組に対する評価では、特に以下の点等が評価の対象となりました。

全従業員(アルバイトを含む)を対象として安否確認システムを導入し、平常時から同システムの訓練を頻繁に実施されており、非常時も迅速に安否確認が行われることが期待できる点

対象店舗にハザードマップを配布されるなど、各拠点の自然災害リスクや耐震上の課題などを認識されている点

事業継続に関する方針が明確であり、普段から災害時携帯カードなどを活用して全社員へ周知されている点

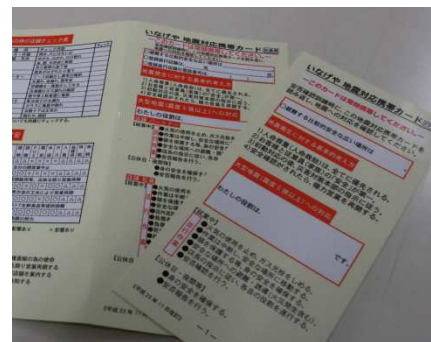
三井住友銀行では、「SMBC事業継続評価融資」により、有事における企業の事業継続対応のための体制構築を支援するとともに、企業のリスク管理の取組を金融の立場から支援することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



従業員にヘルメット配布



備蓄食品(ピラフ、水、栄養補助食品)



災害時携帯カード

<ご参考>

1 MS & AD インターリスク 総研株式会社

MS & AD インシュアランスグループで「リスクマネジメント事業」を担うコンサルティング会社。企業の事業継続やリスク管理における豊富なコンサルティング実績を持ち、事業継続分野の国際協会である BCI（事業継続協会）の日本支部において中心的な役割を担っている。

2 事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）

事故や災害などが発生した際に、「いかに事業を継続させるか」もしくは「いかに事業を目標として設定した時間内に再開させるか」について作成する計画書および手順や情報を文書化したもの。

3 事業継続マネジメント（BCM：Business Continuity Management）

組織への潜在的な脅威、およびそれが顕在化した場合に引き起こされる可能性がある事業活動への影響を特定し、主要な利害関係者の利益、組織の評判、ブランド、および価値創造の活動を保護する効果的な対応のための能力を備え、組織のレジリエンスを構築するための枠組を提供する包括的なマネジメントプロセス。

4 事業継続マネジメントシステム（BCMS：Business Continuity Management System）

BCP をもとに組織の復旧力や対応力（事業継続性）を継続的に向上させるフレームワークおよび仕組みのこと。BCMS は、BCP の策定から運用、見直しまでのマネジメントシステム全体を指し、事業継続への取組が効果的に運用管理され、必要に応じて改善し、それを実行するためには PDCA（Plan Do Check Action）を実現するマネジメントが要求される。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。